



平成 21 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 千 趣 会  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 行 待 裕 弘  
(コード番号 8165 東証・大証 第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員  
総 務 本 部 長 藤 由 和 秀  
(T E L 06-6881-3100)

(訂正)「平成 19 年 12 月期 決算説明会資料」の一部訂正について

当社は、平成 21 年 2 月 20 日付「過年度決算の訂正に関するお知らせ」において、過年度決算を訂正する旨を公表いたしました。これに基づき「平成 19 年 12 月期 決算説明会資料」の記載事項の一部に変更が生じたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正を行う「平成 19 年 12 月期 決算説明会資料」の概要

決算期：平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

公表日：平成 20 年 1 月 31 日

以 上

# 株式会社 千趣会 第63期 決算説明会(訂正後)

---

2008年1月31日

株式会社 千趣会

Copyright SENSHUKAI Co., Ltd. All Rights Reserved.

---

SENSHUKAI CO., LTD.

# 目次

1. 2007年度業績について
2. 2007年度下期のトピックス
3. 2008年度連結業績予想
4. 2008年度決算発表予定

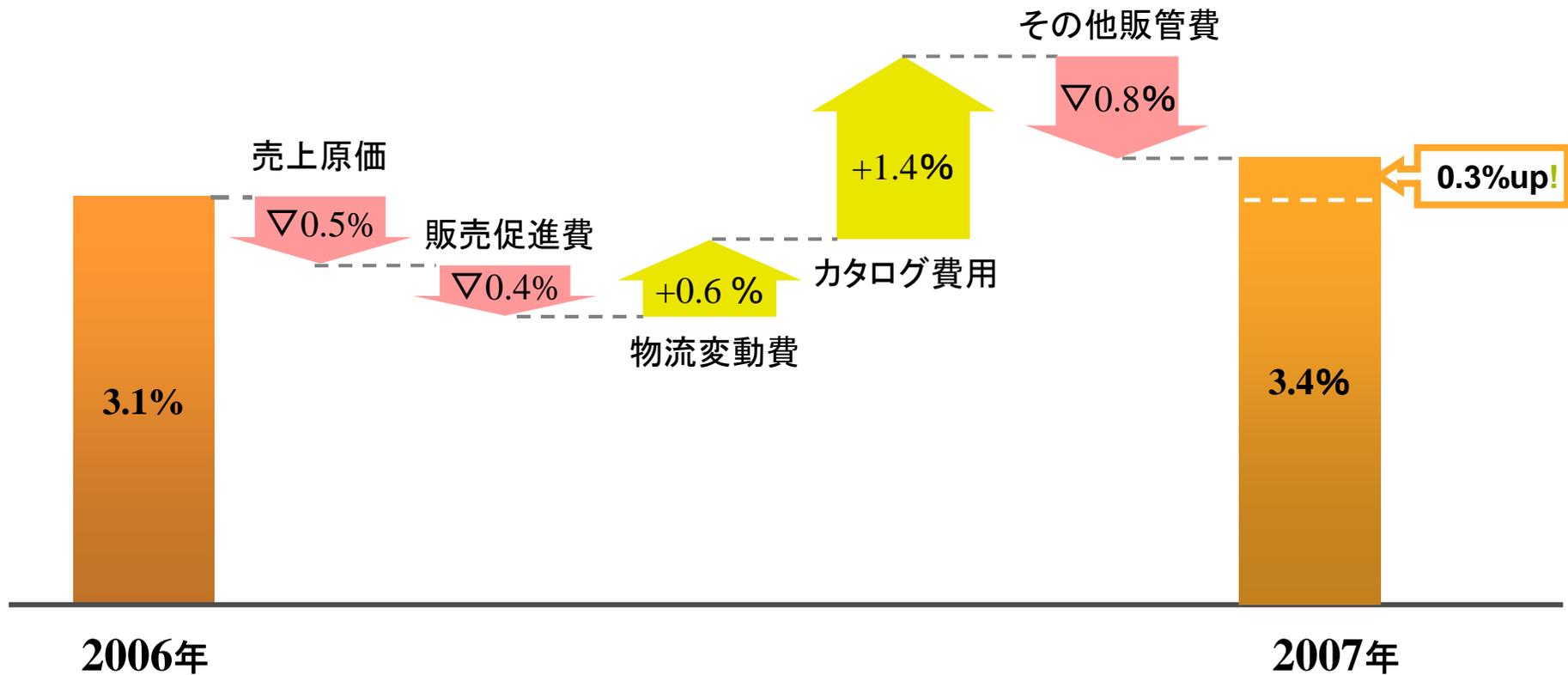
# 2007年度業績について

## 2007年度決算期連結決算損益（対前年比較）

（単位：百万円）

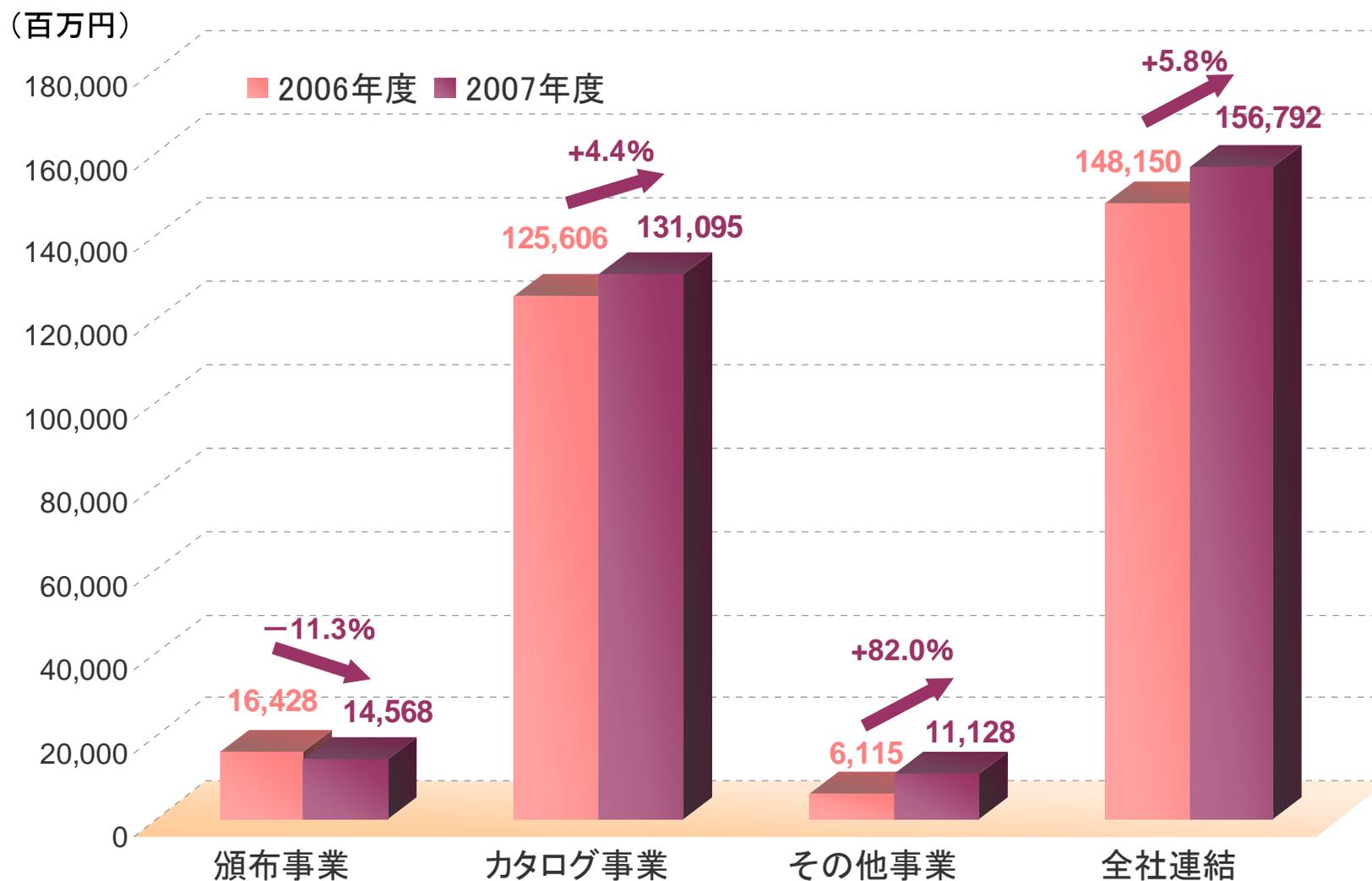
	2006年度	売上比	2007年度	売上比	差額	対前年 増減率
売上高	148,150	-	156,792	-	+8,642	+5.8%
売上原価	75,727	51.1%	80,864	51.6%	+5,136	+6.8%
売上総利益	72,423	48.9%	75,928	48.4%	+3,505	+4.8%
販管費	67,821	45.8%	70,637	45.0%	+2,816	+4.2%
営業利益	4,602	3.1%	5,291	3.4%	+689	+15.0%
経常利益	5,240	3.5%	<u>4,683</u>	<u>3.0%</u>	<u>-556</u>	<u>-10.6%</u>
当期純利益	3,627	2.4%	<u>1,932</u>	<u>1.2%</u>	<u>-1,695</u>	<u>-46.7%</u>

# 対前年営業利益率推移

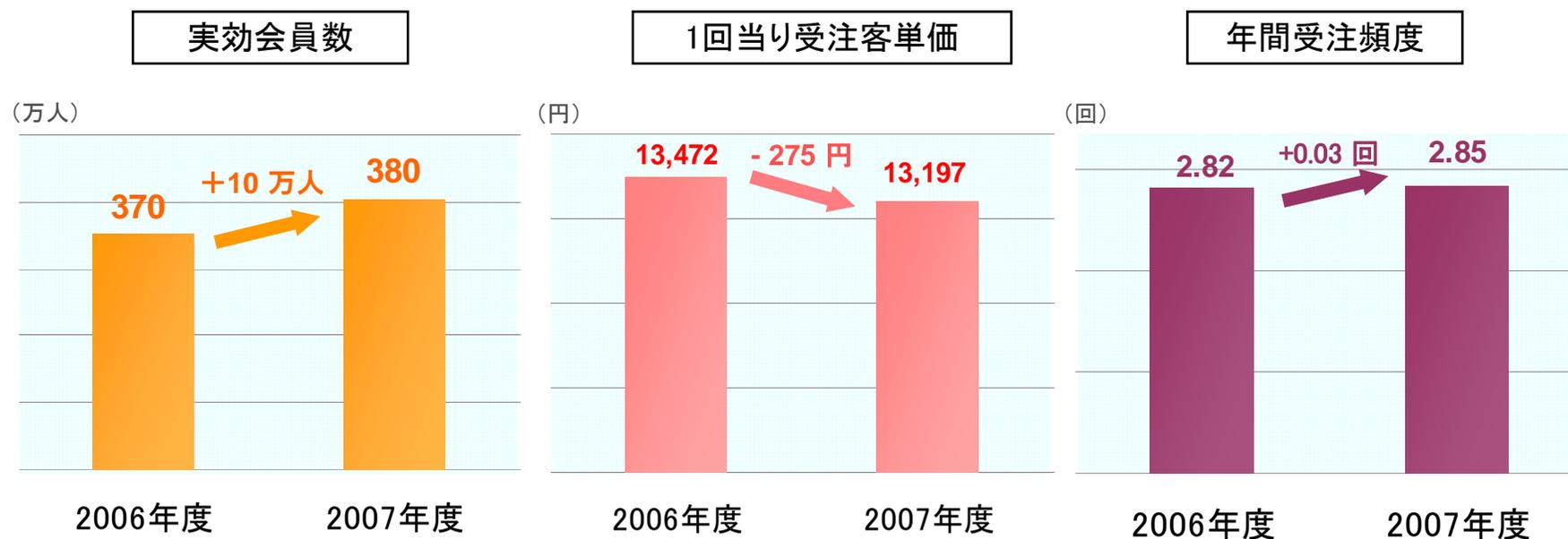


- 売上原価率の上昇及び販促費比率増となるが、物流変動費比率及びカタログ費用比率の低減により営業利益率増。

# 2007年度セグメント別売上高(対前年比較)



# カタログ事業売上増加要因

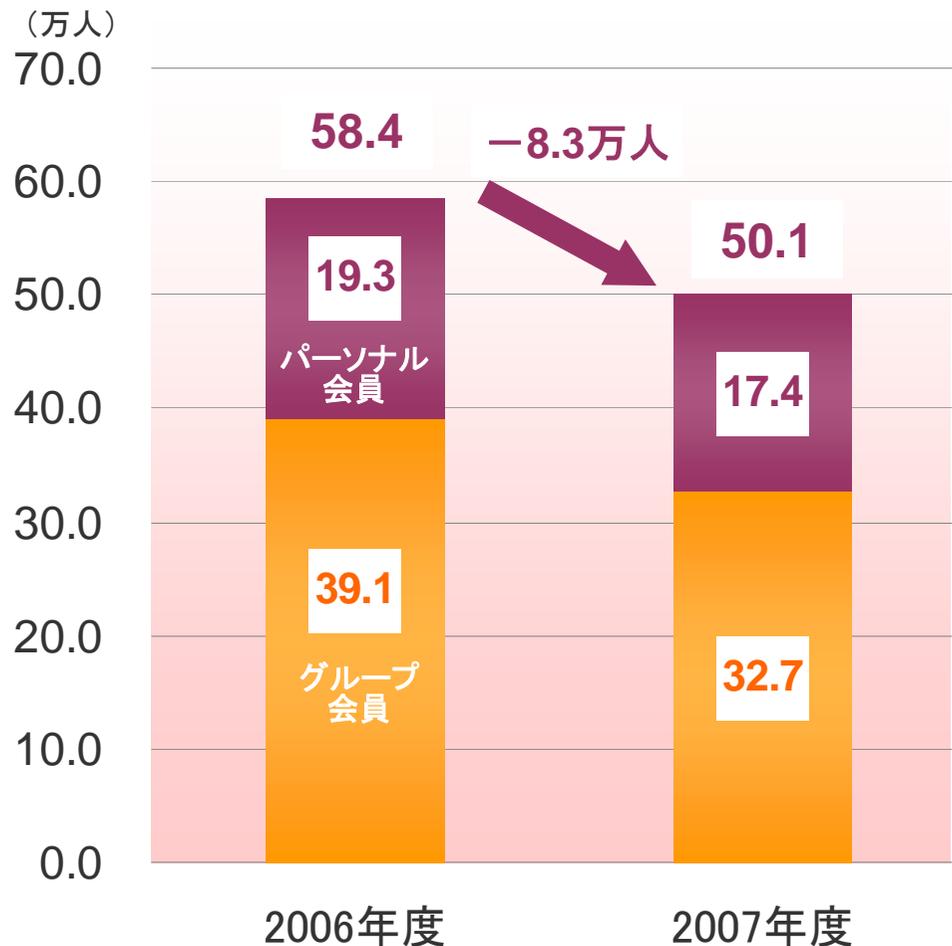


- 新規獲得会員増及び継続率アップにより実効会員数は10万人増加
- 客単価は、ネット受注比率増等により減少するも、受注頻度は上昇
- 「私たちの暮らす服」好調続く  
2007年度売上約270億円、新規会員・復活会員の獲得にも貢献

※実効会員数: 1年の間でご注文いただいたお客様数

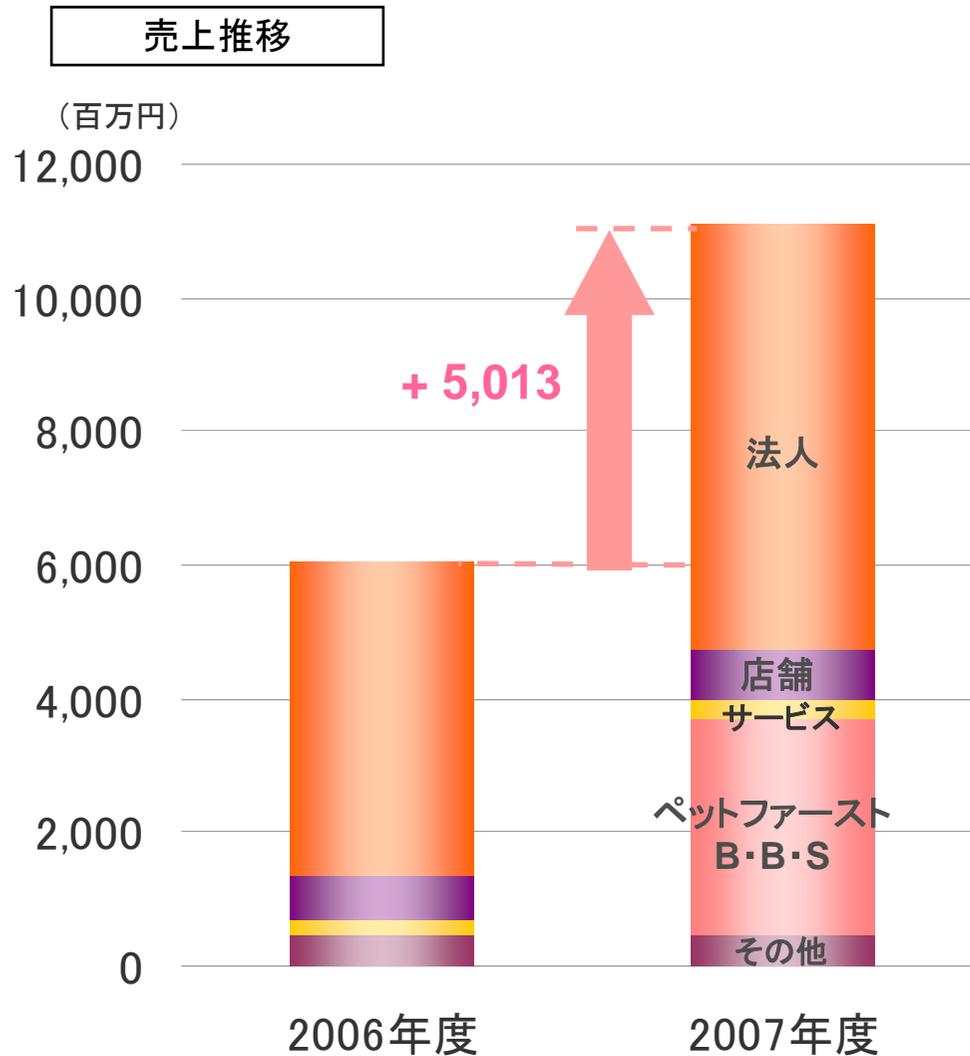
# 頒布事業売上減少要因

## 会員数推移



- パーソナル会員及びグループ会員の減少による売上減
- 頒布事業の再構築  
職域設置BOX事業推進中  
事業所との接点を拡大強化  
12月末現在 約13,000BOX

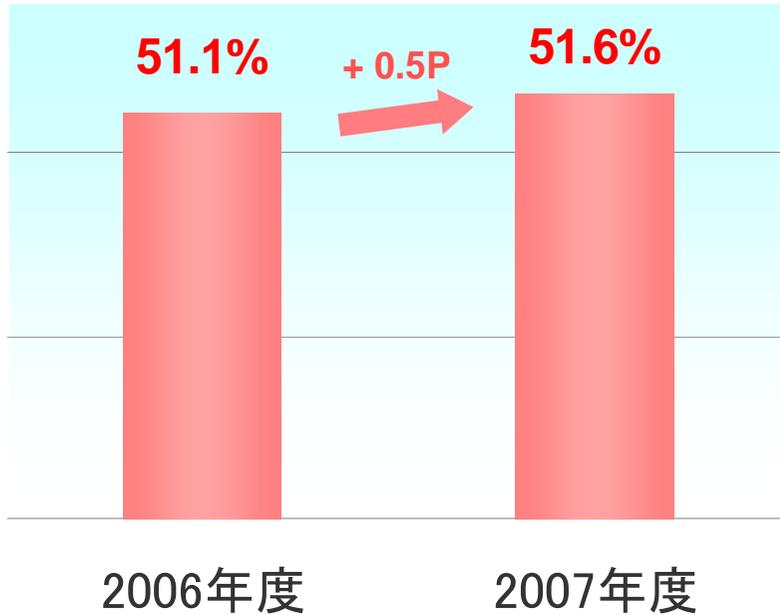
# その他事業売上増加要因



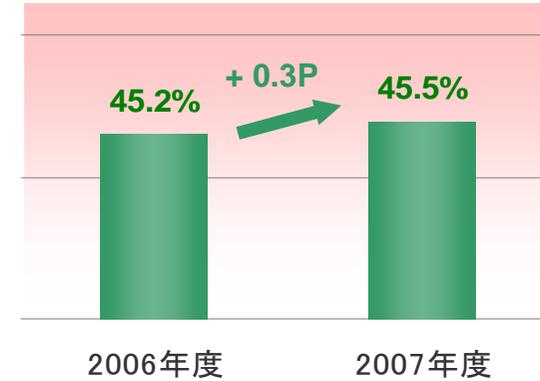
- 法人の中の業務受託の売上増  
⇒対前年約15億円の増
- 今期より新たに連結した子会社  
⇒ペットファースト、B・B・Sの売上による  
ペットファースト (12 店舗) ⇒ 約16億円  
B・B・S (5 店舗) ⇒ 約15億円
- 『ベルメゾンのお店』は現在7店舗  
⇒その中でも『暮らす服ショップ』順調

# 売上原価率の状況

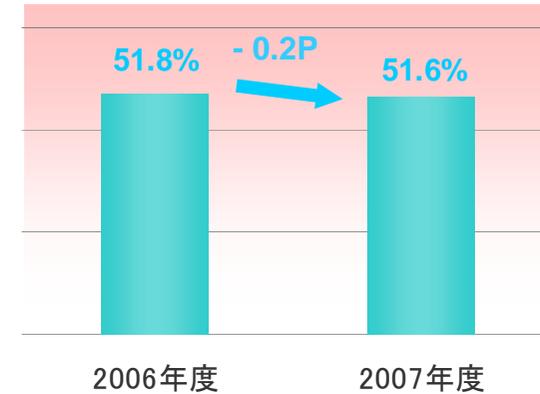
連結



頒布会事業



カタログ事業

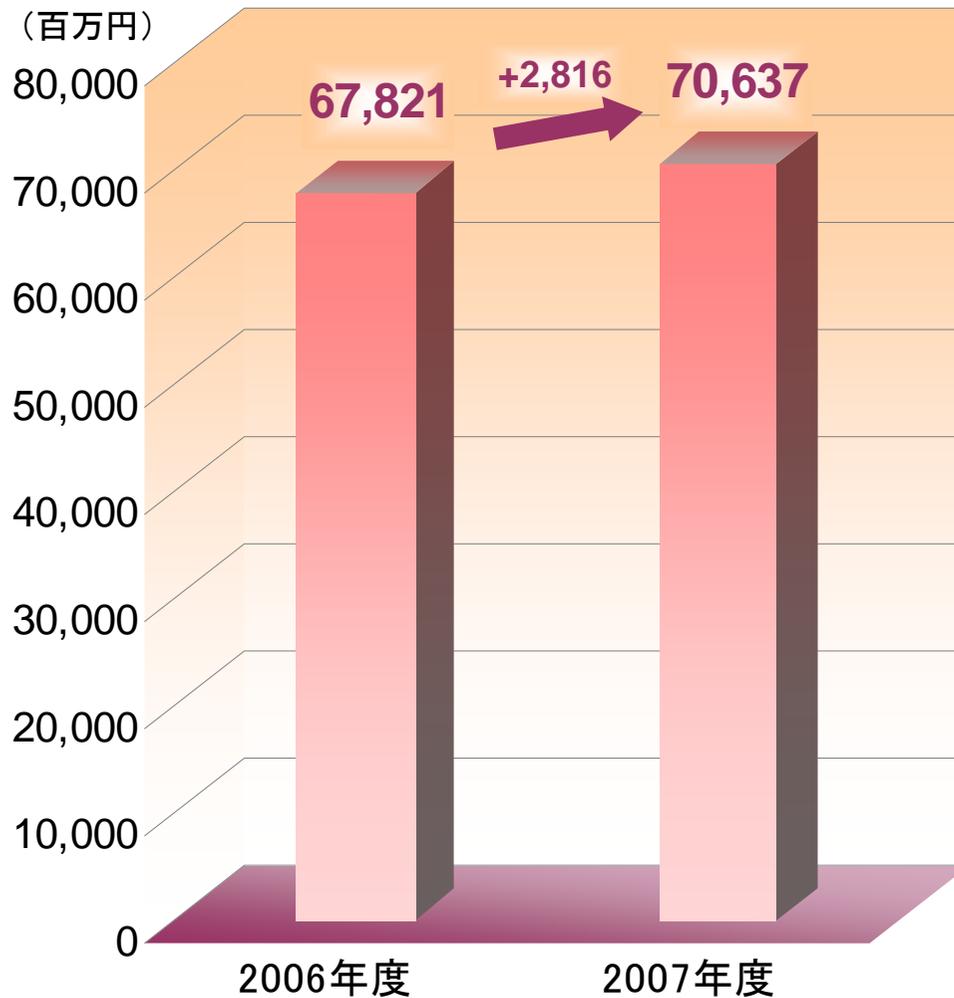


その他事業



- 頒布事業 グルメ及び職域設置BOX事業の原価率増
- カタログ事業 輸入比率増加による仕入原価率減
- その他事業 原価率の高い業務受託の売上増に伴う原価率増

# 販管費増減内訳



媒体関連費用	-1,051
販売促進費	855
人件費	1,021
支払手数料	1,691
その他費用	300
<b>合計</b>	<b>2,816</b>

※ カタログ部数  
102百万部 ⇒ 96百万部 (6百万部減)

- 印刷部数減・送料減による媒体関連費用減
- ベルメゾンポイント費用増による販促費増
- 外部委託手数料増による支払手数料増
- 連結子会社増に伴う人件費増

# 2007年度下期のトピックス(1)

ベルメゾン×黒田知永子による新ブランド  
『Rashisa Deluxe (ラシサ・デラックス)』デビュー!

タレント・モデルの  
黒田知永子さんと  
一緒に開発した  
40歳代向けファッション  
の新ブランド  
「**Rashisa Deluxe**  
(ラシサ・デラックス)」  
を9月1日より展開。



国内最大級の品揃え、女性のための  
『アディダス』カタログ発刊!

マルチスポーツブランド  
のアディダス ジャパン  
株式会社の協力のもと、  
30代の女性をターゲット  
にした、『アディダス』  
カタログを10月1日より  
発刊。  
カタログは、秋冬号と  
春夏号の年2回を予定。



『暮らす服』ショップ 1号店 兵庫県川西市にオープン!

兵庫県川西市のショッピングセンター『モザイクボックス川西』内に  
カタログ『暮らす服』ショップの1号店を10月6日にオープン。

『暮らす服』の商品をカタログのイメージのもと、実際に手にとっていただくことのできるショップ。メインターゲットもカタログ同様、20歳代後半から40歳代までの子育てファミリー。

今後も『暮らす服』ショップの店舗展開を進めていく予定。



## 2007年度下期のトピックス(2)

女の子を楽しむMy占いサイト『Plumoi (プルモア)』新生オープン！

当社の子会社である株式会社フューチャーコンパスが運営している、会員制占い専門コミュニティ「Pika Pika Garden (ピカピカガーデン)」を、10月16日よりサイト名も一新、『Plumoi (プルモア)』として新生オープン。コンテンツも増強し、占いを軸として、恋愛・人間関係・ダイエットなど、友達とのコミュニケーションをとりながら女の子が自ら毎日を楽しめるサイトとしてオープン。



株式会社ディアーズ・ブレインとの資本業務提携

地域密着型のハウスウェディングを行なっている  
ディアーズ・ブレイン社と11月に資本業務提携。

今後、ディアーズ・ブレイン社が持つウェディング事業のノウハウと千趣会の事業資源を相互に活用し、双方の事業の効率性を高めてゆく。



株式会社 **ディアーズ・ブレイン**

# 2008年度連結業績予想

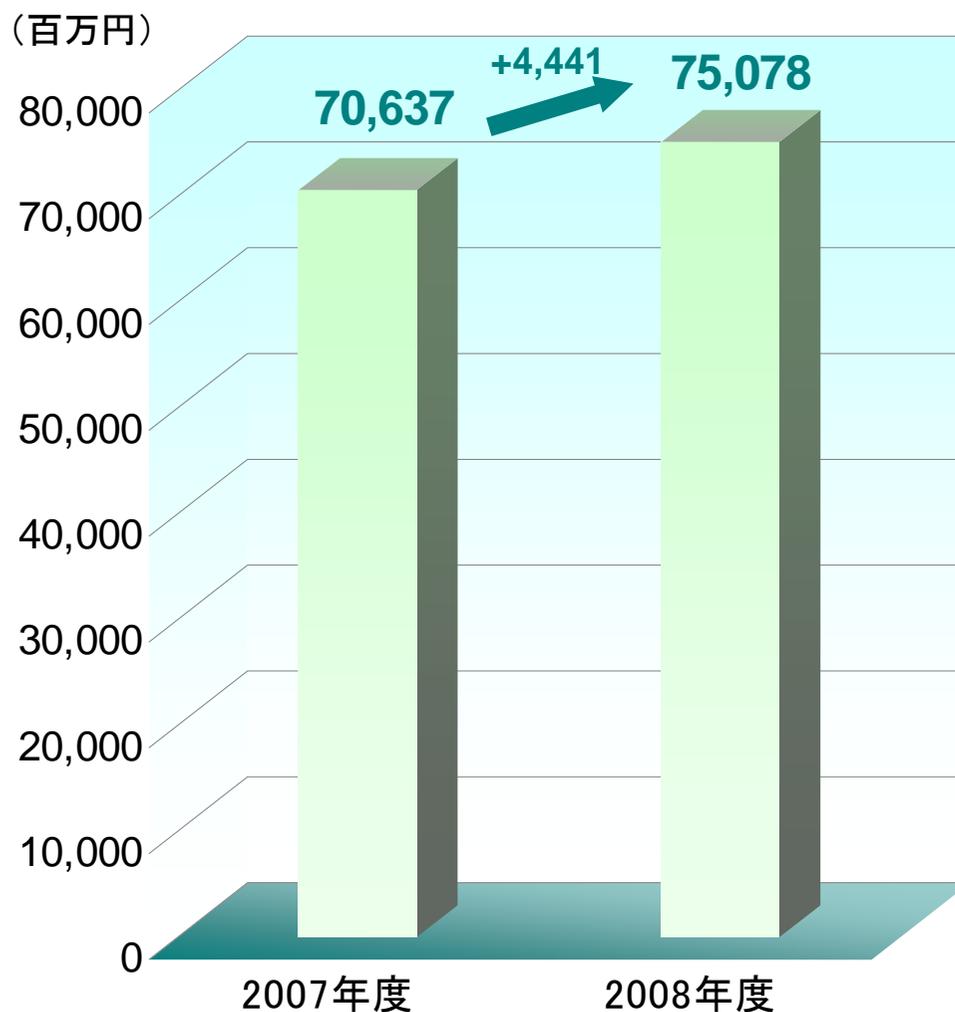
# 2008年度連結決算損益予想(対前年比較)

(単位:百万円)

	2007年度	売上比	2008年度	売上比	差額	対前年 増減率
売上高	156,792	-	160,000	-	+3,208	+2.0%
売上原価	80,864	51.6%	81,621	51.0%	+757	+0.9%
売上総利益	75,928	48.4%	78,378	49.0%	+2,450	+3.2%
販管費	70,637	45.0%	75,078	46.9%	+4,441	+6.3%
営業利益	5,291	3.4%	3,300	2.1%	-1,991	-37.6%
経常利益	<u>4,683</u>	<u>3.0%</u>	3,400	2.1%	<u>-1,283</u>	<u>-27.4%</u>
当期純利益	<u>1,932</u>	<u>1.2%</u>	1,400	0.9%	<u>-532</u>	<u>-27.6%</u>

■年間配当金額は17円(連結配当性向56.7% 単体配当性向39.7%)を予定

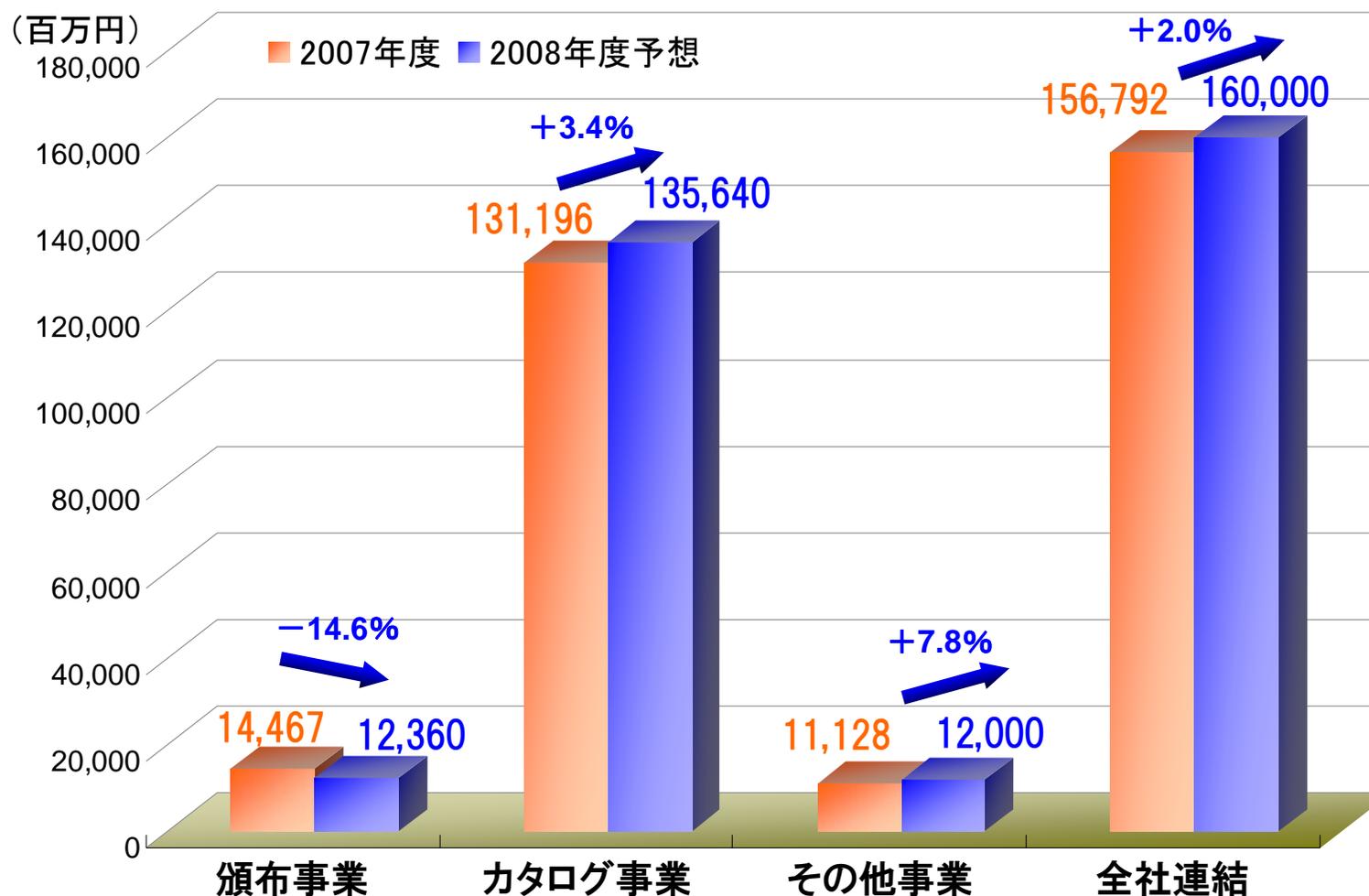
# 販管費増加理由



媒体関連費用	1,875
人件費	547
賃借料	347
減価償却費	415
その他費用	1,257
	<hr/>
	4,441

- 印刷用紙値上げ等による媒体関連費用増
- 連結子会社増に伴う人件費増
- 新東京本社及び外部倉庫増による賃借料増
- 新本社・新システムに伴う減価償却費増
- 新本社関連費用(備品消耗品等)発生

# 2008年度セグメント別売上予想(対前年比較)



※2008年度よりセグメントを変更しております。(頒布会事業の中のグルメをカタログ事業に  
カタログ事業の中のディズニーの一部を頒布会事業に変更)

# 2008年度決算発表予定

- ◆ 4月25日 (金) 第1四半期決算発表
- ◆ 7月31日 (木) 中間決算発表
- ◆ 8月 1日 (金) 中間決算説明会(東京)
  
- ◆ 10月24日 (金) 第3四半期決算発表

※ 当決算説明会資料の記載内容のうち、将来予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。